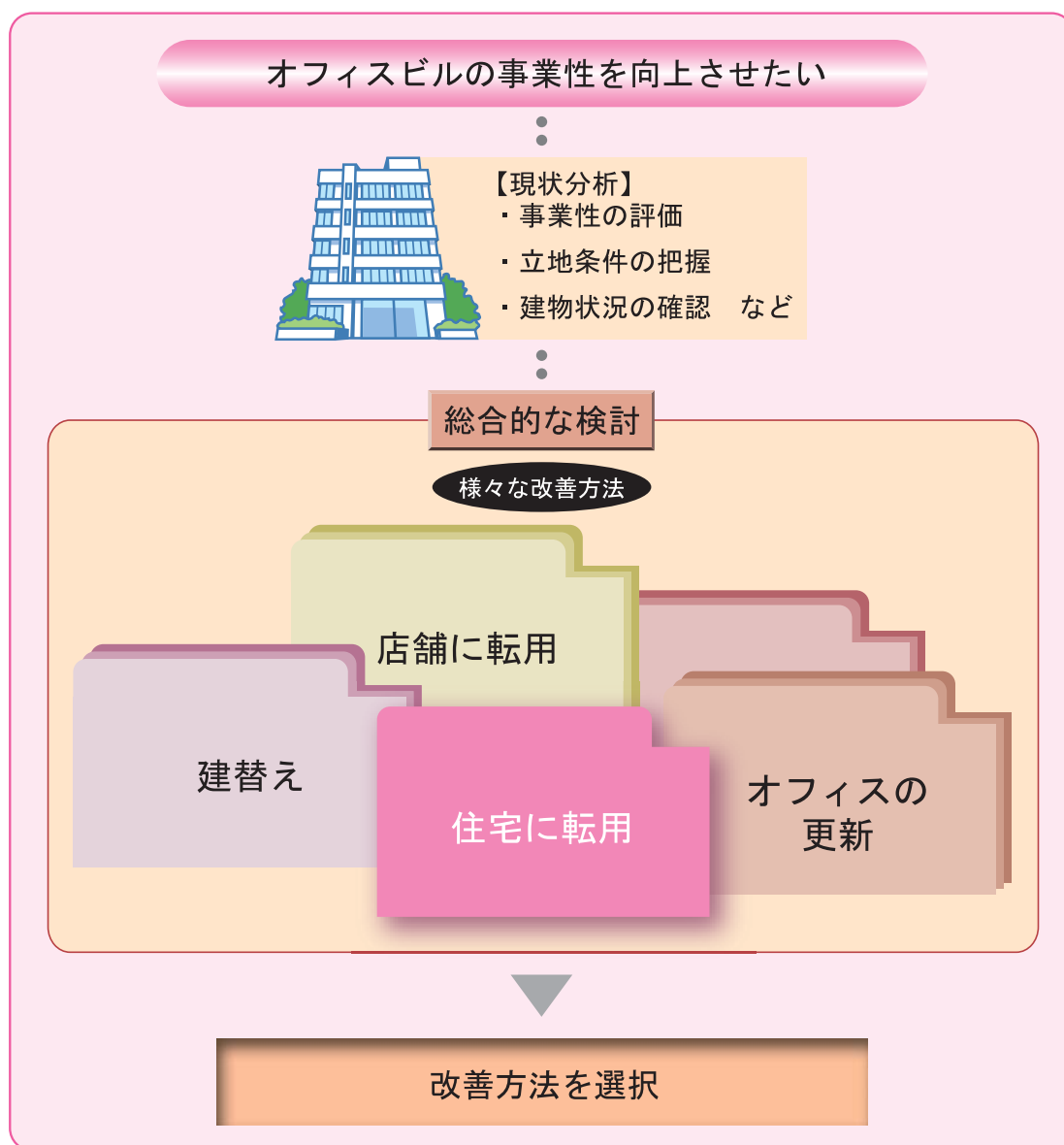


住宅転用を検討するにあたって

住宅転用は、事業性向上に対する新たな選択肢

長期にわたり空室が発生しているオフィスビルの事業性の向上を検討する場合、選択肢の一つとして、賃貸マンションなどの住宅用途に転用することが考えられます。立地条件や建物の状況など現状を分析し、総合的に判断した上で、改善方法を選択しましょう。



住宅転用の特徴

オフィスとしての需要が低下した地域でも、住宅に転用することにより、建物の再生が可能な場合があります。また、既存建物の解体工事をとまなわないので、一般的に建替えと比べて工期が短くて済み、短期間で事業を再開することができます。初期費用も建替えと比べて、低く抑えることが可能です。

住宅転用はビル1棟全てを転用するだけでなく、部分的に転用するなど、創意工夫によって、いろいろな活用策が考えられます。

